

## 福祉厚生常任委員会審査日程

招集日時：令和4年6月15日（水曜日）午前10時00分

場 所：議事堂大会議室

※議案第44号の質疑と付託議案外質疑は、事前に文書で通告

### 1. 開議

### 2. 議案審査

議案番号	件 名	備 考
議案第44号	令和4年度取手市一般会計補正予算（第6号）（所管事項）	

### 3. 付託議案外質疑

### 4. 市長提出議案の討論・採決

### 5. 令和3年第2回意見交換会時のご意見・ご要望について（委員のみ）

### 6. 令和4年第1回意見交換会時のご意見・ご要望について（委員のみ）

### 7. その他

### 8. 散会

\*審査は議案番号順に行いますが、審査状況により変更となる場合があります。

\*委員会の出席者は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から**議案質疑・議案外質疑に係る原則課長補佐職以上のみ、かつ、自己の所管業務に関する部分に限ってのみの出席**をお願いします。

福祉厚生常任委員会  
「付託議案」 質疑事前通告一覧表

令和4年第2回定例会

議案番号及び議案名	質疑順位	質疑者	質疑事項	質疑要旨
議案第44号 令和4年度取手市一般 会計補正予算(第6号) (所管事項)	1	鈴木三男 委員	妊産婦・子育て女性の健康づくり事業に要する経費について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 この事業の期間はいつからいつまでか、また週何回ぐらい開催予定か</li> <li>2 対象となる妊産婦、子育て女性は何名ぐらいを予定しているか</li> <li>3 運動教室の外部委託</li> </ol>
	2	齋藤久代 委員	民間保育園運営に要する経費について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 業務効率化推進事業（ICT）補助金の詳細説明</li> <li>2 認定こども園整備補助金               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 門扉のオートロック化、どのような運用になるか</li> <li>(2) 外構改修工事はどのような工事が必要になるか</li> </ol> </li> </ol>
			妊産婦・子育て女性の健康づくり事業に要する経費について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 前期、後期とも40名程度の募集方法</li> <li>2 約2500名の実人数は80名であるか</li> <li>3 オンラインはどのような方法で行われるか</li> <li>4 オンラインは週1回(全26回)、オンサイト月1回(全7回)、参加者の割合と変更可能か</li> <li>5 体操プログラムの開発(心と身体にまたがると思われる)の監修はどのように行われるか</li> <li>6 相談の方法(個別、オンライン、オンサイト)</li> <li>7 相談要員手配(健康運動指導士・保健師・助産師)</li> <li>8 アンケートの重要性と活用</li> </ol>

	3	加 増 充 子 委 員	22 民間保育園運営に要する経費について	1 民間保育園に要する経費 詳細について伺う (1) (ICT) 補助金 (2) 認定こども園整備費補助金 (オートロック)
			21 保育所の施設整備に要する経費について	1 新型コロナウイルス感染症対策経費 (1) トイレ改修工事どこか (2) 水栓改修工事どこか (3) 今回ですべて終了か
			22 子育て支援に要する経費について	1 新型コロナウイルス感染症対策経費 (1) トイレ改修工事どこか (2) 今回ですべて終了か
			23 妊産婦・子育て女性の健康づくり事業に要する経費について	1 具体的な事業内容を伺う

福祉厚生常任委員会  
「付託議案外」 質疑事前通告一覧表

令和4年第2回定例会

質疑 順位	質疑者	質疑事項	質疑要旨
1	加増充子 委員	公・私立保育所（園）の入所状況と今後の見通しについて	1 令和4月1日の児童数から見て、保育士の配置状況について伺う 2 入所児童数が増えれば、希望する保育所（園）に入れない状況が出てくるのではないかと
2	齋藤久代 委員	市内のこども食堂の現状について	1 現在の活動状況 2 今後の支援
3	遠山智恵子 委員	あいサポート運動について	1 進捗状況と課題 2 合理的配慮の取組状況
		障がい児保育について	1 受入れ状況 2 課題
		中央保育所について	1 民営化問題 2 これまでの保護者要望に対する実施状況 3 公私間格差是正に向けて
4	石井めぐみ 委員	ワクチンの接種記録の保存期間について	1 現在の接種記録の保存期間の現状 2 接種記録の保存期間を市町村独自で延長することについて国の見解は、自治体の文書管理規程等に照らして判断して良いとなっている。市としてどのように考えているのか

令和4年6月15日

取手市議会議長

金澤克仁 殿

福祉厚生常任委員会

委員長 関川 翔

委員会中間報告書

本委員会に付託の調査事件について、会議規則第45条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 調査事件名 令和3年第2回意見交換会時要望・意見に関する当委員会所管事務
- 2 調査の経過 令和4年3月4日、6月15日
- 3 意 見 別紙のとおり

【福祉厚生常任委員会】 令和3年第2回市民との意見交換会（要望・意見）

	要望・意見	回答
1	<p>安心して子どもを産み育てられるよう、また、若い方々がさらに転入していただけるように、子どもの発育に関わる支援の充実、救急医療体制の拡充等、子育てしやすい様々な支援等々のある、魅力あるまちづくりのさらなる検討を進めてほしい。</p>	<p>現在、取手市では母親の妊娠期から始まる子育て支援策に取り組んでいます。例えば、妊娠期から乳児期の支援策として市内4つの支援センター運営や子育て世代包括支援センターで利用者支援員が交流事業・情報発信・相談事業に取り組み、発育や発達に関しても乳児期には保健センターで発達相談や親子教室を実施しています。</p> <p>また、近年は全国的に待機児童問題がありますが、取手市では「待機児童ゼロ」を目標に市内公立保育所の新設や子育て世代の育児環境を整えるため、一時保育、病児保育、早朝・延長保育を実施し、令和3年度は待機児童ゼロを達成しています。さらに幼児期では、公立及び民間の教育保育施設を臨床発達心理士が巡回相談を実施しています。5年ごとに実施している子ども・子育て支援アンケート調査では「今後も継続して取手市に住み子育てする予定か」の項目では、89.2%が「住み続けたい」としており、5年前と比較すると10.1%増加しています。</p> <p>市議会としましても、さらに子育て世代が住みやすい取手市を目指し、子育て支援における政策や事業を提案していきたいと考えております。</p>
2	<p>高齢者のワクチン接種について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者は○日～○日までに□□（場所）で打つようにと決められたほうがよかった。</li> <li>・パソコンでの予約はできない、1日中電話、公民館に直接行ったら長蛇の列、大変だった。</li> <li>・特に高齢者には分かりやすい説明と丁寧な対応が必要。（何に対しても）</li> <li>・打つ・打たないの判断が自己責任なので、ワクチンについての疑問や不安などの相談窓口があるとよい。</li> </ul>	<p>高齢者のコロナワクチン初回接種は、予約時の混雑をできるだけ防ぐ目的で、85歳以上から65歳以上の年齢区分にて、接種券の発送日をずらしながら順次発送し、発送時期に応じた公民館等での予約会において、インターネット予約を支援していました。しかし、予約に際しては、コールセンターの電話が殺到し、つながりにくい状況が続いたり、予約会の会場によっては待ち時間が長くなってしまったことなど、ご迷惑をおかけした場面もあったと報告を受けています。</p> <p>ワクチン接種に関しまして、個別通知、広報とりで、市ホームページ等により重要な情報を適宜お知らせしながら、相談窓口として保健センターでは、土日も含めた随時相談に対応し、国や県等に設置された相談窓口の周知も徹底しております。</p> <p>国は4回目の接種に向けて体制を5月末までに整えるよう自治体に通知しています。市議会としましても皆さんがスムーズに予約・接種できるよう注視してまいります。</p>

3	<p>ワクチン3回目の接種について。小学生のワクチン接種を中止してほしい。</p>	<p>5歳から11歳のワクチン接種は、令和4年1月に薬事承認されたことを受け、1・2回目接種としての初回接種を3月から開始したところです。この年齢層における3回目接種に関しては、現時点において国の方向性が全く示されていない状況です。</p> <p>このタイプのワクチンを体に入れることは前例がなく、特に低年齢なので保護者は悩んでいると考えられます。打ったほうがよい、打たないほうがよいとは言えないため、市議会としましても、今後も国の指針を注視してまいります。</p>
4	<p>県内一位を目指してほしい（ウォーキング、チューブ体操人口比等々、どの事業でもよい。これにより活性化、盛り上がってくるのではないか。茨城県は今年も魅力度ランキング最下位。私は総合型地域スポーツクラブを運営している。主として健康や体力づくりを通して、全国一位の事業をつくりたい！）</p>	<p>取手市では、市民全体の健康づくりの意欲の底上げを図りたいという考えの中で、令和3年度の事業の1つとしてウォーキングマップ「ぷらっと取手駅周辺散策MAP」を作成しました。市には、茨城県認定の「ヘルスロード」のウォーキングマップがありますが、今回は取手第二高等学校の生徒さんから提案のあった、高校生等の若者にも活用される散策マップを作成しました。駅周辺の見どころや河川敷から見渡す風景、また高低差のある取手市ならではの複数の坂道や国際色豊かな飲食店が点在していることなどを紹介する魅力的なマップとなっており、公共施設や市内高校にも配置し老若男女問わず取手市の魅力に触れていただきたいと考えています。また、スタンプラリーを用いたウォーキングイベントも計画しております。</p> <p>市議会としましても、引き続きこうした事業を注視・提案し、子どもから高齢者まで、世代を超えて健康づくりのできる取手市を目指していきたいと考えています。</p>

福祉厚生担当の意見等の一覧（令和4年第1回意見交換会）

No.	担当課	意見	備考
1	保健センター	コロナ禍で外出等いろいろな行動が制限されており、出たくても出られないので、市で外出の目安を指導してほしい。	
2	子育て支援課	出産費用が数十万円かかるが、出産費用の全額補助を。（国の助産制度）	
3	子育て支援課	オープンハウスをやった経験から、子育てや介護で気軽に話ができる場づくりが必要ではないか。また、お母さんの子育て相談支援のために、お母さんたちの交流の場をもっと増やすべきではないか。	
4	国保年金課	小麦や原油だけでなくLPGも高騰しており、それに伴い物価も上がり、電気代も上昇している。そのような中、年金受給額が下がっている状況である。夏に向けてエアコンを存分に使えなくては、高齢者は熱中症になりかねない。年金受給額を上げられないか。	
5	国保年金課	年金生活者にとって、諸物価値上げの中で年金を減額されることは深刻な問題。これから猛暑日に電気代の節約でエアコンをつけない高齢者を心配している。せめて、市で給付金支給とか何らかの支援を行うよう議会から求めてほしい。	
6	高齢福祉課	社協の「移動タクシー」は、藤代地域と取手地域とでは予約期間に差がある。この差は何なのか。	
7	高齢福祉課	介護認定率を下げる取り組みとして、広島市のような「ポイント制度」の充実。	
8	高齢福祉課	介護保険が変わってきているが、問題はないのか。神奈川県は、昼夜、訪問体制ができているところもある。取手市もそうになってほしい。	
9	高齢福祉課	老人がいっぱい。コロナで不安・不満がいっぱい。取手市はどう考えているのか。	ご意見として受け止める。
10	高齢福祉課	かたらいの郷の「大利根の湯」が17時まで利用できるはずなのに、16時半には利用中止にしている。利用者は怒っている。誰かが高齢福祉課に連絡したら「掃除の時間を含めて契約している」とのこと。民間委託している市の施設で、このような例はない。議会として、各施設の契約内容を確認し、改善を求めてほしい。	
11	高齢福祉課	高齢者施設が多いが、若い人をつながるような取り組みを。高齢者と若い人を繋げる、コミュニケーションをつくるような施策を。	